

授業科目	生活援助技術演習	単位数	1 単位	講師名	看護教員
		時間数	45 時間		
学年	1 学年	履修期	前期～後期		
授業の目標	健康障害を持つ人の日常生活を営むために必要な援助を看護の視点からとらえることができ、よりよい状態へ整えていくための基本的看護技術を修得する				
担当講師	(12) 40 点		(19) 40 点		
授業内容 (授業計画)	1. ベッドメイキング (技術試験：20 点) 2. 安楽な姿勢・体位の特徴 3. ボディメカニクスの原理と看護実践への活用 4. 活動・運動 1) アセスメント 2) 体位変換・移動 3) 床上運動・活動の援助 4) 歩行時の援助 5) 車椅子への移乗・移送 (技術試験：20 点) 6) ストレッチャーへの移動・移送		1. 清潔・衣生活 1) アセスメント 2) 清潔行動・衣生活の自立困難な人への援助 寝衣交換 (技術試験：20 点) 点滴実施中の寝衣交換 部分浴 (手・足・髪) 全身清拭 (セパレートタイプ使用) ※演習課題点：20 点		
	(9) 評価方法：課題 (15 点)		(5) 5 点		
	1. 摂食の援助技術 1) 食事摂取の自立困難な人への援助 2) 嚥下障害がある人への援助 2. 排泄の援助技術 1) トイレ歩行・ポータブルトイレでの排泄援助 2) 床上での排泄の援助・陰部洗浄 3) 浣腸		1. 模擬患者演習 (課題点：5 点) 模擬患者 (シルバー人材センターの方) に日常生活援助 (寝衣交換、全身清拭) の実践		
評価方法	1. 技術試験      2. 課題提出				
注意事項	授業前には、日常生活援助についての DVD 等の視聴・教科書や参考書等を確認し、事前学習をしてから参加する。 演習は実習室で行ないます。演習が行なえるように準備をしておくこと				
教科書	1. 系統看護学講座 専門分野 I [3] 基礎看護技術 II (医学書院) 2. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 (医学書院)				
参考図書	1. 基礎看護技術 I・II 氏家幸子/阿曾洋子 (医学書院) 2. ナーシング・グラフィカ 基礎看護学 基礎看護技術 (メディカ出版)				